

国文学

第一〇五号

令和三年三月一日発行

〒六四八六八〇 大阪府吹田市山手町三十三三三
関西大学国文学会
E-mail: kokubun@chkansai-u.ac.jp
電話(直通)〇六六八三六八一〇三二一
郵便振替〇〇九四〇一六一二五八四四

〒六四〇八四二 和歌山県和歌山市槐取一七一
株式会社 ウイング
電話〇七三四五三二五七〇〇
E-mail: mail@w-i-n-g.jp

国文学 第一〇五号

令和三年三月

令和三年三月一日発行

関西大学国文学会

学術刊行物
ISSN.0389-8628



令和三年三月
第一〇五号

目次

国宝『信貴山縁起絵巻』第二巻「延喜加持巻」再考	大西春香	1
——『扶桑略記』と『山槐記』をめぐって——		
『辛酉紀行』伝本に関する研究	藤原みずき	19
——伝小堀遠州自筆本をめぐって——		
備前岡山藩池田綱政の和歌修練①	福留瑞美	51
——飛鳥井雅章添削の百首歌を中心に——		
芭蕉「や」、「かな」考	胡文海	69
『誹諧五色梅』試論	三原尚子	83
——大名俳諧の一樣相——		
『赤城義臣伝』と『通俗演義赤城盟伝』	山本卓	99
租界生活とアイデンティティ	邵金琪	107
——池田みち子「上海」を読む——		

真杉静枝の広州訪問とその叙述の表裏	郷	双	123
川端康成「虹いくたび」論	辻	秀平	135
——死者との関係を視点に——				
石川淳「今はむかし」論	吉田	拓也	153
——再編される歴史——				
福永武彦「飛ぶ男」論	中島	葵	169
——マラルメ「窓」を視座として——				
筒井康隆「虚人たち」論	松山	哲士	187
——メタフィクションがもたらす「彼」の主張——				
国文学会彙報			205

山崎豊子『大地の子』の成立	唐楚輝	(1)
——作者の取材記録と文献資料を手掛かりとして——		
『易林本節用集』の漢字字体について	徐茂峰	(23)
『虎明本』と『狂言六義』における依頼話段の差異	八坂尚美	(41)
時を表す語における意味変化の方向性	山際彰	(57)
——サキザキを中心に——		
結末部分の定型化からみる東西漫才	日高水穂	(73)
話者同士の立場関係と対称詞使用の関連性	山本空	(93)
——方言ロールプレイ会話を用いて——		
モラウ系授受動詞を用いた依頼表現の比較	辻岡咲子	(109)
——国国会議録の資料から——		
「好きだ」構文の対象語を標示するφ・ノコトと情報構造	池田尋斗	(123)

